

広島市植物公園

見どころ案内

福寿草・セツブンソウ

(キンポウゲ科)

ロックガーデンにいよいよ春がやってきます。福寿草は太陽が照っているときだけ開きます。セツブンソウも咲き始めました。

水抜きしたうらら池

池沿いの遊歩道の補修に伴い、うらら池の水抜きを行っています。気温の低い朝は氷が張っています。

ツバキ園 (ツバキ科)

200品種約600本のツバキが植えられています。肥後系のツバキが咲き始めました。

マンサクの仲間

(マンサク科)

黄色のマンサクや、オレンジや赤色の交配種が見頃です。1月から咲いていたシナマンサクは終わりが近づいています。

クリスマスローズ展

(キンポウゲ科)

～3月4日(屋外展示場)
花の少ない冬～春にかけて大きな花を咲かせ、外で育てることができる人気の植物です。品種改良により、豪華な八重咲きや黒に近い赤色の出現など、魅力を増し続けています。

植物日本画展

～3月1日(展示室)

四季折々の植物の姿を描いた日本画を展示します。

球根ベゴニア (シュウカイドウ科)

当園では年間を通じて球根ベゴニアが開花していますが、特にハンギングタイプは冬から春にかけて最も豪華に咲きます。

早春の洋ラン展

～3月4日(展示温室)

シンビジウムやデンドロビウムなどの洋ランの園芸品種と珍しい原種などを展示しています。

大温室リニューアルオープン

3月3日に大温室がリニューアルオープンします。記念式典は10時から、一般開放は10時30分予定です。

マンドレイク (ナス科)

別名マンドラゴラ。引き抜くと悲鳴を上げるという伝説で有名な薬用植物です。薄紫の可憐な花を咲かせています。

